

入院患者の転倒・転落発生率

算式

入院中の患者に発生した転倒・転落件数/入院患者延べ数×1000
(‰：単位はパーミル)

対象

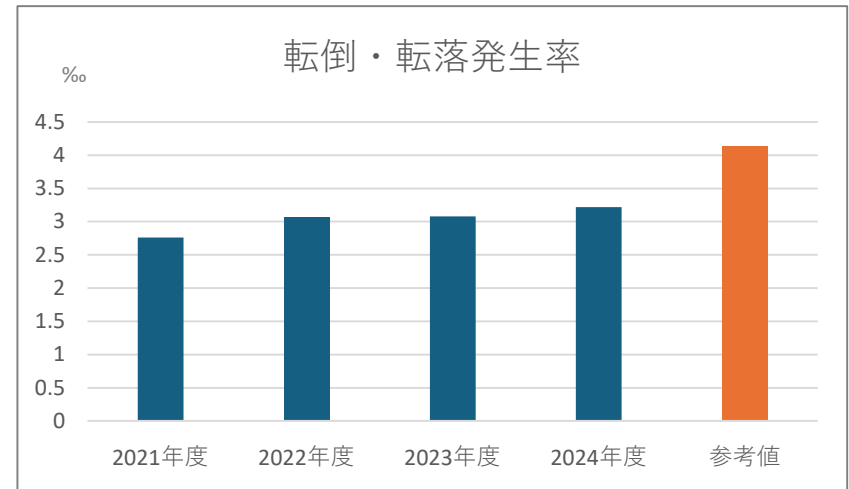
全入院患者（全診療科・全病棟）

考察

転倒・転落発生率は、院内で実施している転倒・転落予防対策の評価指標となる。当院の転倒・転落発生率は徐々に増加傾向である。しかし、入院患者の高齢化が進み、転倒転落のリスクが高い患者が増加しているなかで、1年毎に見ると微増で抑えられている。このことから、各病棟・診療科での転倒・転落事例の分析により、患者の状態に合わせた転倒・転落対策が実施できていると評価している。

計画

今後も転倒・転落事例の分析を行い、他職種が連携してより効果的に転倒予防対策を行う。
継続的なモニタリングにより、対策の評価を行う。



参考値：日本病院会QIプロジェクト 2023年度「入院患者の転倒・転落発生率」平均値

